

さあ踏み出そう！未来に続くこの一歩
～今、私にできること～

第45回静岡県ボランティア研究集会



絵 松本まもる

日時：2024年2月23日(金・祝) 10:00～16:15
会場：静岡サレジオ マリアンホール

(静岡市清水区中之郷3-2-1)

主 催	特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会・公益財団法人静岡県労働者福祉基金協会
共 催	社会福祉法人静岡県社会福祉協議会・社会福祉法人静岡市社会福祉協議会
実施主体	第45回静岡県ボランティア研究集会実行委員会
協 力	学校法人星美学園 静岡サレジオ中学・高等学校 学校法人常葉学園 常葉大学草薙キャンパス
後 援	静岡県・静岡県教育委員会・静岡市・静岡市教育委員会

手話通訳
要約筆記
あります

「さあ踏み出そう！未来に続くこの一歩」

～今、私にできること～

誰かに言われたからやるでもなく、何かのためにやるでもない。

こうだったらいいな、こんなことならできるかな、そんなところから始まるボランティア活動があってもいいと思います。そんな活動が社会に空いた隙間を埋めて、みんなの笑顔を生み出す力の一つになっています。人は一人では生きていけません。多かれ少なかれ人と人のつながりの中で生きています。ボランティア活動はこれらのことを実感させてくれます。

ところが、新型コロナウイルスの感染拡大は、これまで当たり前だった「会って話をする」ことすらできなくなりました。その結果、細くなってしまったり、切れてしまったりしたつながり（人と人とのネットワーク）が少なくないと見聞きます。

否応なしに新型コロナウイルスとの共存を強いられることが決定的になった今だからこそ、細くなってしまったつながりを紡ぎ直すような、さらには新たなつながりを生み出すような、そんなボランティア活動をここから始めようではありませんか。

若い人たちも歳を重ねた人たちも、みんながここに集い、ともに今を見つめ学び合い、自分にできる何かを見つけられるような、そんな研究集会を一緒に作り上げましょう。

【プログラム概要】

10:00～10:15	オープニング
10:15～10:30	開会式
10:30～12:00	基調講演 映画「医師中村哲の仕事・働くということ」(47分) 上映 ペシャワール会会長・PMS総院長 村上 優さんのお話
13:00～15:30	分科会(8分科会) *様々なボランティア活動における課題を深める分科会を持ちます
15:40～16:15	全体会・閉会式 ・次回の西部地区へ引継ぎ

10:00～10:15 オープニング

清水区のダンススタジオACQuA(アクア)の子ども達によるダンスパフォーマンス

10:15～10:30 開会式

開 会 開会のことば
主催者あいさつ
来賓ご祝辞
実行委員長あいさつ

10:30～12:00 基調講演

基調講演

テーマ：『中村哲さんを語る・生きる』

中村哲さんのドキュメンタリー映画

「医師中村哲の仕事・働くということ(47分)」上映とお話



講師：村上 ^{まさる} 優さん(ペシャワール会会長・PMS総院長)

◆プロフィール

中村哲医師は1984年よりパキスタン北西辺境州ペシャワールでの医療事業(ハンセン病の根絶計画)に始まり、東部アフガニスタン山岳無医地区に最大6か所の診療所を建設、ペシャワールにはPMS基地病院を運営してきました。2000年からは地球温暖化にともなう大旱ばつを前に井戸(1600本)、2003年よりは「緑の大地計画」としてマルワリード用水路、2010年よりクナール川水域に10か所の取水堰を作りPMS方式灌漑事業の技術的な確立をしました。2018年より、この灌漑技術を広げアフガニスタンに適した灌漑事業によってアフガニスタンの農業復興を目指していました。その活動期間でソ連侵攻(1979年)、アフガン内戦(1989年)、タリバン政権の樹立(1996年)、欧米軍の侵攻と新政府の樹立(2001年)、そして今回のタリバンの復活と、40年を通して戦争がありました。中村先生は非戦を貫き、真の平和と相互扶助が人類共通の文化遺産として、誰とでも協力して他所の逃れようのない人々のために力を尽くしてきました。2019年に中村先生は亡くなりましたが、その精神は中村先生が亡くなった後もしっかり引き継がれていることをお伝えします。

13:00～15:30 分科会

次の8分科会の中から、ご希望の分科会をお選びください（第1希望・第2希望まで）。
希望者が多い場合は、事務局で調整させていただきますのでご了承ください。

第1分科会 (まちづくりの分科会)

きて、みて、知って、草薙のまち

草薙エリアのまちづくりは、住民や商店会、学生などのつながりによって主体的に行われています。草薙のまち歩きをした後、一般社団法人草薙カルテッドが運営するコラボレーションスペースTaktで草薙のこれまでのまちづくりとこれからのまちづくりについてお話しします。行政との連携、まちづくりに関わる人の裾野を広げるために大切にしていること、これからのまちづくりはどうあるべきかを考えます。

※30分程度のまち歩きを行います。 ※一部、階段を上り下りする場所があります。

テーマ：①草薙のまちを歩いて感じてみよう
②草薙の人々のつながりを知ってみよう
③まちづくりのこれからを考えてみよう

ファシリテーター：西 美有紀さん（一般社団法人草薙カルテッド コミュニティコーディネーター・集会実行委員）

第2分科会 (ふくしを考える分科会)

障がいのある人の生活を知ろう ～私の生き方、みんなの生き方知ろう・聞こう～

みなさんは普段、障がいのある人と関わる機会がありますか。関わる機会がある人、そうでない人がいると思います。では、“みんなが生活しやすい社会”と聞くとどのような社会を思い浮かべますか。その答えは一人ひとり違うと思います。

この分科会では、障がいのある人となない人の生活を聞いて、みんなが暮らしやすい社会にするために「いま自分ができること」について一緒に考えましょう。

テーマ：①障がいのある人の生活を知ろう
②私の生き方、みんなの生き方を知ろう
③みんなの生活しやすい暮らし方や自分にできるボランティアについて考えよう

ゲスト：杉山元太さん（集会実行委員）、秋山活三さん（集会実行委員）、
林 隆宏さん（NPO法人ひまわり事業団準スタッフ）

第3分科会 (パラスポーツの分科会)

障がいの理解と誰でもできるパラスポーツボランティア

東京パラリンピックを契機にパラスポーツは、身近なスポーツとして市民の中に広がりを見せています。障がいのあるなしに関わらず取り組めるスポーツとして期待されているパラスポーツを実際に体験することから、パラスポーツボランティアへの理解を広める分科会にしていきます。

※参加される方は、室内シューズを持参してください。

テーマ：①パラスポーツって知っていますか。
②パラスポーツを体験してみよう。（ボッチャ・フライングディスク）
③パラスポーツボランティアのすすめ

講師：大塚康夫さん（しずおか障がい者フライングディスク協会理事長・集会実行委員）

第4分科会 (ネット社会を考える分科会)

スマホ時代の子育てを支援しよう

昨今、子育てのシーンにおいてもスマホが利用され、乳幼児にとっても身近な存在となっています。上手に活用している場面が見られる一方、乳幼児期からの利用による発達への影響等を心配する声もあります。ここでは、「子どもにスマホは必要か否か」を論ずるのではなく、有効な活かし方と、スマホに頼るだけでない、あたたかいふれあいのある社会づくりを一緒に考えます。

テーマ：①スマホ時代の子育ての現状
②スマホ子育てのメリット・デメリット
③保護者と周囲の大人にできること

講師：松田直子さん（NPO法人e-Lunch（イーランチ）理事長）

第5分科会 (生活を支える分科会)

すぐできるボランティア活動「フードバンク」

今、あなたは幸せですか？
世の中には食事を満足に取れない人々が多く存在します。その一方で年間523万トンもの、まだ食べられる食品が捨てられています。このような矛盾した状況を結びつけるのが「フードバンク」の活動です。この活動はあなたの「ちょっとした」行動が困っている人をダイレクトに助けることができます。この分科会では実際の仕分け作業を体験し、助け合う気持ちを醸成していきます。

テーマ：①フードバンクの説明を聞いて、フードバンクの実態を知ろう！
②実際に使う食品の仕分け作業を体験し、理解を深めよう！
③どうしたらフードバンクが無くても良い世の中になるのか考えてみよう！

助言者：望月健次さん（NPO法人フードバンクふじのくに事務局長・集会実行委員）

事例提供者：櫻井康詞さん（社会福祉法人静岡市社会福祉協議会 暮らし・しごと相談支援センター）

第6分科会 (災害対応を考える分科会)

大規模災害時に「命を守る行動」がとれるために

大規模災害時には、まず「命を守る行動！」が最優先です。命が守れなかったら次はありません。12年前の東日本大震災で大切な教訓を学びました。まずあなたが逃げて！ 率先避難者になることで、自分の命、周囲の人の命も助かることにつながります。まずは「命を守る」この行動を躊躇なくとれるために必要なものは何なのか一緒に考えてみませんか。

テーマ：①いのちを守る行動を実践するために必要なこととは？
②いのちを守る行動をとれる環境とは？
③“災害への備え”とは？一緒に考えてみましょう。

助言者：八木澤弓美子さん（岩手県 おおつち子ども園園長）

永野 海さん（日弁連災害復興支援委員会副委員長 弁護士・防災士）

第7分科会 (「対話」で活動づくり分科会)

対話から始めるまちづくり ～聴くこと、話すこと、対話の可能性～

地域では様々な問題が起こっています。そこでは多様な背景や異なる価値観、考え方をを持った人たちと話し合うことも求められます。そこで必要とされるのが「対話」です。「お互いに違っている」ことを前提に、それでもお互いを尊重し合いながら新たな策を創造することを目指します。この機会に対話の大切さや意義、実際の現場での使われ方、さらには私たちの暮らしへの活かし方などを一緒に学び、考えていきましょう。

テーマ：①「対話」をすることの意義や大切さを知る、学ぶ
②様々な現場での「対話」の活かされ方について知る
③「対話」を日常的に使っていくためのコツを手に入れる

講師：谷山博史さん（特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンター（JVC）前代表理事）

第8分科会 (地球市民として生きる分科会)

地球に住所のある私たち

例えば、昨夏の猛暑、各地で頻発した豪雨災害、山火事。

例えば、モロッコ、アフガンの大地震。

例えば、ウクライナ、パレスチナの軍事対立。

経済格差、地域格差とともにある貧困問題。

どの例をとってみても、地球規模で考えていかなければ解決できない課題を抱えています。

これら地球規模の課題も、多くの人の智慧と良心と勇気を集めれば解決する術（すべ）が、あるのではないのでしょうか。

地震が起きることを防げなくても、耐震インフラの構築で軽減する。いち早い支援ボランティアで人々の暮らしを救うことはできるでしょう。

アフガニスタンで医療のみならず、灌漑水路の構築の必要性を唱え、自ら重機の運転台にも乗った中村哲さんのように誰もがなれるわけではないかもしれませんが。

しかし、私たちは地球に住む人として、地球に営まれている社会をより良くする、平和に守るための智慧を集め、アクションをしていきましょう。

この「地球に住所のある私たち」分科会は、海外でのボランティア経験のある方をお招きして、わたしたち地球人の雑談会を催します。どうぞ気軽に、ご参加ください。

ゲスト：杉山弘樹さん（（公財）日本財団ボランティアセンター）
加藤伶奈さん（JICA静岡県デスク 国際協力推進員）

15:40～16:15 全体会・閉会式

閉会式

主催者あいさつ

実行委員会あいさつ

次回開催地（西部地区）への引継ぎを行います。

閉会のことば

集会参加者のための
お弁当ご注文承ります
800円
(お茶付き・税込)

*2.23ふじさんの日協賛企画

静岡市清水区蒲原海岸では、2.23ふじさんの日にちなみ、地元自治会や蒲原まちづくりの会の皆さんによる清掃活動が行われます。本集会はこの活動に協賛します。



* 参加申込み用フォーム *

参加の申込みはウェブからできます。
右の二次元コードを読み取ってください。
うまく読み取れない場合は、静岡県ボランティア協会の
ホームページからアクセスしてください。



静岡県ボランティア協会URL : <https://shizuvol.jp/>

表紙絵の画家 - 松本まもるさんご紹介 -

画名・benimaru は、モダンアート展や個展を中心に発表しています。初期の作品は油絵が多かったのですが、今は、コンピューターアートが中心です。
楽しい作品づくりを心がけ、マグカップやTシャツも作っています。ボランティアの集まりにふさわしい作品を提供していただきました。



* 感染症対策のお願い *

当日、体調の優れない方、体温37.5度以上の方や強い倦怠感・激しいせきなどの症状がある方は、参加をお控えくださるようお願いいたします。

会 場 案 内

静岡サレジオ マリアンホール (静岡市清水区中之郷3-2-1) 他

●電車でお越しの場合

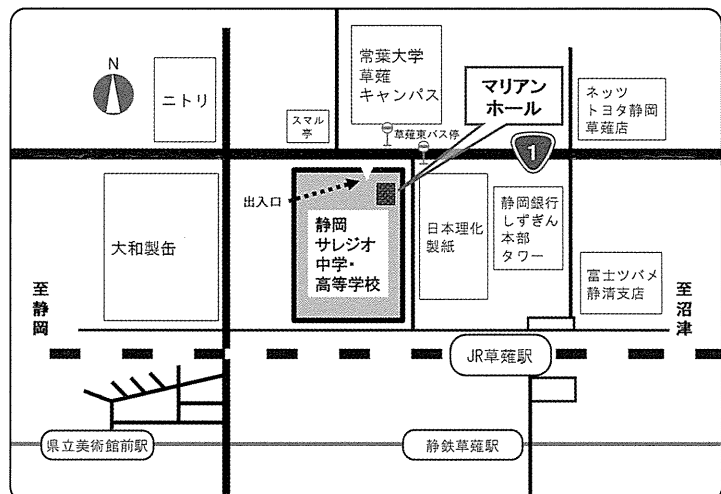
- ・JR草薙駅北口より徒歩約5分
- ・静岡鉄道草薙駅あるいは
県立美術館前駅より徒歩約15分

●バスでお越しの場合

- ・静鉄バス草薙瀬名新田線
「草薙東」下車、徒歩約1分
- ※祝日は、国道東静岡清水線の
運行はありません。

●お車でお越しの場合

- ・会場に駐車場はありません。
お車でお越しの場合は、有料駐車場をご利用ください。
(障がい等の理由により車での来場を希望される方、車の乗降が困難な方は申込書⑨サポート欄に
その旨をご記入ください)
 - ・マイクロバス等を利用される場合は、事前に事務局までご連絡ください。
- 有料道路からのアクセス
東名高速道路清水ICより約15分／東名高速道路静岡ICより約30分





第45回静岡県ボランティア研究集会



「静岡県ボランティア研究集会」は、静岡県内でボランティア活動・市民活動に関心を持つ人たちが実際の活動に参加している人たちが一堂に会し、情報の交換や話し合いを通してお互いの活動に関する学習を深めるとともに、ボランティア同士のネットワークづくりを推進し、県内におけるボランティア・市民活動の発展に寄与することを目的に開催します。

1. 日 時 2024年（令和6年）2月23日（金・祝） 10：00～16：15
2. 会 場 静岡サレジオ マリアンホール 他
3. 対 象 ボランティア・市民活動に関心のある方ならどなたでも
4. 定 員 400人
5. 参 加 費 一般 1,000円 ・ 高校生以下 無料
・ 参加費は資料代及び運営費の一部としていただきます。
・ 参加費は、参加申し込み後、主催者より「参加案内」が届きましたら、案内された指定の方法でお支払いください。
・ お支払いいただいた後に参加をキャンセルされた場合、参加費の返金はできません。あらかじめご了承ください。
・ 昼食は、各自でご持参くださるか、事前にご注文ください。
※なお、昼食を希望される方は、参加申込書に記入してください。（800円お茶付き）
6. 申 込 み 所定の参加申込書に必要事項をご記入の上、静岡県ボランティア協会まで郵便またはFAXにてお送りください。あるいは専用ウェブフォームからお申込みください。
7. 締 切 り 2024年1月31日（水）
※定員になり次第、申し込みを締め切らせていただきます。
※希望者が多い分科会については、事務局で調整いたしますのでご了承ください。
8. そ の 他 ・ 介助が必要な方は予め申し出ください。（手話通訳・要約筆記など）
・ 基調講演の内容やすべての分科会で話し合われた内容を簡潔にまとめた「第45回静岡県ボランティア研究集会報告書」をご希望の方へ販売いたします。
購入を希望される方は、集会当日にお配りする報告書申込み用紙にご記入の上、事務局に申し込んでください。

【問合せ先】

特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館2階
TEL：054-255-7357 FAX：054-254-5208 e-mail：evolnt@mail.chabashira.co.jp

公益財団法人 静岡県労働者福祉基金協会

〒420-0851 静岡市葵区黒金町5-1 静岡県勤労者総合会館3階
TEL：054-273-3000 FAX：054-272-7326

社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会

〒420-8670 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館3階
TEL：054-254-5224 FAX：054-251-7508 e-mail：chiiki@shizuoka-wel.jp

社会福祉法人 静岡市社会福祉協議会

〒420-0854 静岡市葵区城内町1-1 静岡市中央福祉センター内
TEL：054-254-6330 FAX：054-653-0039（地域福祉推進課）